

## 第6学年 総合的な学習の時間学習指

単元名 「わたしたちの町 ○○」

指導者

小学校

教諭

### 1. こんな子どもだから

○ 子どもたちは、1学期に「平和な世界を目指して」という学習で、修学旅行を中心に、戦争について学ぶ活動を行い、グループ毎に計画を立て、調べていくことを経験した。興味があったり得意だったりする学習には意欲的に取り組むが、自分なりの方法を持って追究活動する子どもはまだ少ない。

#### 【主体的・創造的な態度】

○ インターネットや文献などを活用しながら課題追究することはある程度はできるが、問題解決に必要な情報を集めるためにアンケートやインタビューなど多様な方法を用いることは少ない。また、日頃グループ学習は行っているが、相手意識をきちんと持った話し合いには至っていない。

#### 【問題解決にあたっての学び方】

○ 学習対象への自分なりの見方や考え方を持つことはだいたいできているが、調査活動や話し合い活動の中で、自分のものの見方や考え方の広まりや深まりを自覚したり、次の学習や生活に生かしたりすることはできていない。【自己の生き方への自覚】

### 2. こんな教材で

○ 本単元は、6年生にとって小学校の集大成として、地域のために自分たちにできることは何かと考えたり、実践しようとしたりすることは、次の点から価値があると考ええる。

・ 普段意識していない自分たちの住む町に目を向け、課題を見つけることで、自分たちの地域について多面的な視点で見ることができる。

・ 追究活動を通して、地域を守る人々の思いや願いを知り、たくさんの人々の協力によってよりよい生活が送れていることに気付くことができる。

・ グループ活動を通して、追究方法を考えたり、考えをまとめたりと互いに意見を出し合いながら学習に取り組もうとする態度を育てることができる。

・ 自治会の方々や公民館主事さんの協力によって、自分たちの力で地域を変えていくことができることを知り、自分たちも地域の一員であることの自覚をもつことで、今後の生き方につなげることができる。

### 3. こんな支援で

○ つかむ段階で、交通、環境、福祉などいくつかの視点から調べてきた地域の課題を拡大地図に貼り付け、追究内容の交流の場や現地調査の時間を設定し、自分の課題を明確にできるようにする。

○ 地域を中心となって活動してある方の話を聞く場を設定し、どのような地域をめざしてあるのかを知ることで、自分たちの課題を見直すことができるようにする。

○ 深める段階では、中間報告会を開き、活動内容や発表方法に対して友だちや保護者から助言をもらい、さらなる活動の充実を目指すことができるようにする。

○ 自分たちの取り組みや考えを発表し、地域の方々や関係諸機関の方々などから意見や感想を聞く場を設定することで、自分たちの考えをより広めたり深めたりすることができるようにする。

### 4. こんな子どもに

○ 相手の立場や意図を考えながら他グループと交流活動をしたり、地域の方や関係諸機関の方に進んで繰り返して関わっていったりすることができる。 【主体的・創造的な態度】

○ 具体的な改善点を交通、安全、環境、福祉などから関係づけて課題を見付け、現地調査、電話による聞き取り、アンケートやインタビュー、インターネットなど、具体的な追究方法を明示した計画を立て、課題追究をすることができる。 【問題解決にあたっての学び方】

○ 調査活動や話し合い活動の中で、自分のものの見方や考え方の深まりや広まりを自覚し、次の学習や生活に生かすことができる。 【自己の生き方への自覚】

5. 学習活動計画（全30時間 1学期：9時間 2学期：21時間）

段階	配時	学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
つかむ	1	1 これまでの6年生の取り組みについて、GTの話を聞いたり資料を見たりする。 ・〇〇公園 ・暗い道路の街灯	○ 地域を見直し、改善したい点を見つけることができる。 【主体的・創造的な態度】  ○ 現地調査から、自分たちで解決できる課題を設定することができる。 【問題解決にあたっての学び方】 ○ 課題解決のために必要な活動は何か話し合い、見通しを持つことができる。 【問題解決にあたっての学び方】	※ 学習課題に対する見通しや意欲をもたせるために、資料やGTとの交流の場を用意する。  ※ 場所や観点ごとに分類し、課題を考えることができるようにする。
	3	2 課題を発見する。 ① (1) 調べたことから課題をもつ。 ② ・公園のごみ ・危険な道路 ・高齢者		
	4	(2) グループで調べる内容について話し合う。 ・ごみの量 ・利用者数 ・地域の人の考え		
	1	3 現地調査に行き、自分たちの課題をはっきりさせる。		
深める	10	4 調査する。（課外活動） ① (1) 夏休みの計画を立てる。 ・日時 ・係分担 ・内容の確認 ② (2) グループごとに調査をする。	○ 公民館の方は、どのような地域を目指しているのかを感じ取ることができる。  ○ 取り組んできたことがよく分かるような、方法や内容を選び発表資料を作ることができる。 【問題解決にあたっての学び方】	※ 自主的な活動ができるように、インタビューやアンケート、関係諸機関への電話やインターネットによる調べ活動など調べ方の助言をする。  ※ どのような地域をめざしているのかを知ることができるように、事前に打ち合わせ主旨を説明する。
	1	5 夏休みの取り組みについて報告会をする。		
	2	6 地域の中心として活動してある方の話を聞く。 ・公民館主事さんの地域への思い		
	3	7 課題解決のための活動を行う。 ・インタビュー ・ごみ拾い ・施設訪問		
広げる	9	8 発表資料を作成する。 ① (1) 計画を立てる。 ・プレゼンテーション ・パネル ⑥ (2) 発表資料を作成する。 ② (3) 中間発表会をする。 ・進行状況 ・これからの予定	○ 友達の発表やGTの方の話を聞いて、自分の考えを深めたり、取り組んできたことに自信をもったりすることができる。 【自己の生き方への自覚】	※ これまでの取り組みや発表資料の内容を発表する中間報告会の場を設定し、質問や感想を出し合い、追究内容の見直しをさせる。  ※ 自分たちの考えをより広めたり深めたりすることができるように、GTから質問や意見、感想を聞く時間を設定する。  ※ これからの自分の行動を考えることができるように、身についたことや新たに気付いたことなどをまとめさせる。
	2	9 発表会のリハーサルを行う。 ・会場配置・役割分担・発表順		
	2	10 発表会をする。 ・取り組みの発表 ・今後の予定 ・意見交換 ・地域の方の話		
	2	11 ポートフォリオの整理をしながら、今回の学習の振り返る。 ・できるようになったこと ・今後に生かせること		

## 6. 本時指導案

(1) 単元名「わたしたちの町 ○○ 」 本時 ( 27 / 30 )

(2) 本時の目標

- よりよい○○校区をつくり上げるために、相手の立場に立った説明の仕方、自分たちの思いや願いを伝えることができる。 【問題解決にあたっての学び方】
- 相手の立場や意図を考えながら、その考えのよさを取り入れ、地域に対する自分の見方や考え方を深めたり広げたりすることができる。 【自己の生き方への自覚】

(3) 本時指導の考え方

めざす子ども像

今日の交流会で、GTの方からアドバイスもらったことで、私たちが取り組んできたことは、もう少し工夫すれば解決できるのではないかと思います。これからは、「改善したい」ということばかりに目を向けるのではなく、○○を設置することによるプラス面、マイナス面両方に目を向けることが必要だということが分かりました。

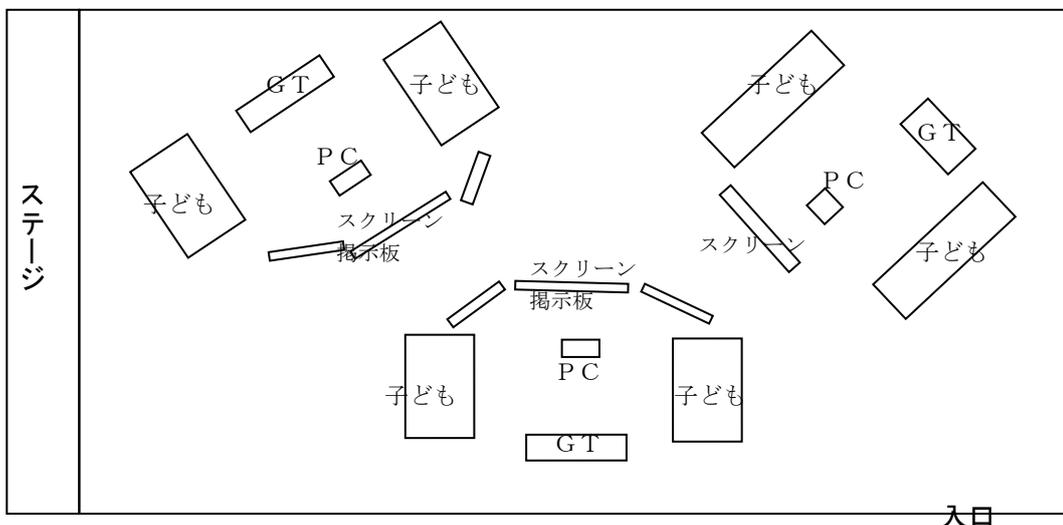
本時までに子どもたちは、各町内別グループに分かれ、福祉や安全、快適さなどの視点から自分たちの課題をもち、現地調査やアンケート、インタビューなどの方法で調べたことを、パソコンでのプレゼンや模造紙にまとめるなど、それぞれの方法で発表資料を作成してきた。

そこで本時では、自分たちが調べたり活動したりしてきたことを発表する場を設定する。この発表を自治会の方や公民館の方など地域の方々に聞いていただき、意見や感想を言っていただくことで、自分たちの考えをより深めたり広げたりしたい。

まず、それぞれの町内別のコーナーに分かれ本時のめあてを確認した後、順に発表していく。発表に際しては、資料を見やすく提示し、相手の様子を感じ取りながら話すよう心がけさせる。

次に、それぞれのGTに質問や意見、感想を話していただく。この際、GTの話を聞きながらプリントにメモをさせるようにする。そのメモを参考に質問に答えたり、意見を述べたりしながら交流させていきたい。その中で、自分たちの取り組みを認められたり、アドバイスを受けたりすることで、自分たちの考えをより深めたり広げたりすることができると思う。さらに、これからの取り組みを進めていく上で自信を持ち、地域の一員としての自覚を高めることができると思う。

(4) 会場図(体育館)



(5) 展開

学習活動と内容	評価規準	重点指導事項
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて 調べたことを分かりやすく発表し、G Tの意見や質問を聞いて、自分の考えをよりよいものにしよう。</p> </div> <p>2. 発表とG Tとの話し合いを行う。</p> <p>(1) 初めの挨拶とG Tの紹介</p> <p>(2) 町内別グループごとに発表する。</p> <p>(3) G Tからの質問、意見や感想を聞き、質問に答えたり意見を述べたりする。</p> <p>3. 今日の学習をふり返る。</p> <p>(1) 今日の学習で、自分の考えがより深まったり広まったりしたことを発表する。</p> <p>(2) 終わりのお礼と挨拶を行い、G Tをお見送りする。</p>	<p>○ G Tの質問に自信をもって答えたり、G Tに積極的に質問したりすることができる。</p> <p>【問題解決にあたっての学び方】</p> <p>○ 本時の学習を通して、自分が考えたことをまとめ、これからの見通しをもつことができる。</p> <p>【自己の生き方への自覚】</p>	<p>※ G Tの話を参考に、自分の考えがこれまでとどう変わったのかを考えながらまとめさせる。</p> <p>※ 学んだことへの価値付けを行い、これまでの活動や本時の学習に対する自信をもたせる。</p>

7. 成果と課題

(1) 本単元の指導について

【成果】○ 地域との関わり

- ・ 打ち合わせを早めに行い、地域の方にたくさんの協力をさせていただくことができた。子どもたちは自主的に自治会長さんを訪問したり、一緒に活動をしたりした。また発表会でも自治会の方々の話を聞き、互いの地域への思いを共有することができたことにより、地域との関わりを感じることができた。

【課題】● 課題設定の仕方

- ・ 課題の視点が、安全のための施設設備などのハード面ばかりでなく、あいさつや交通指導などのソフト面の視点にも目を向けさせることができれば、地域のよさについてさらに深く考えることができた。そのために、導入段階で公民館の方の話を聞き、地域の方がどんな思いでいるのかを考えさせるとよかった。

(2) 『学習プラン』の工夫について

【成果】○ 体験活動の充実

- ・ 各学年の単元に合わせて地域のG Tを活用した体験活動を何度も仕組んでいくことで、自ら課題解決に取り組もうとする子どもが多くなった。学年間のつながりを考え、子どもの意欲や関心を高めるための体験活動をどの場面でどれくらい設定するのかを工夫する必要がある。

【課題】● 言語活動

- ・ 体験活動と言語活動との一体化を目指すために、体験したことや調べたことを整理する時に、どのような方法を使い、どのような目的をもって、他者に表現していくのか、各学年、各単元において綿密に計画を立てる必要がある。